CASE STUDY

Lenovo
INFINIDAT

高性能・高信頼性InfiniBox®エンタープライズストレージソリューションを導入し、顧客の電子商取引業務を最適化
高いI/O性能と可用性で信頼度の高い運用を実現

「容量に空きがなくなってくると顧客営業もどうしても消極的になりがちだったのですが、これだけ容量に余裕があると**自信をもって積極的な営業を仕掛けていくことができ**、ビジネスの成長に大きく寄与しています。」

高埜聡人 氏
株式会社エルテックス
マネージドサービス部
部長

高性能、高可用性と大容量でビジネス拡大を支えるInfiniBox®

事例のポイント

エルテックス様の課題
- トランザクションデータと分析のためのログデータが飛躍的に増大
- リアルタイムデータ分析アプリケーションが要求する高いI/O性能の実現
- 顧客企業のEC/通販業務に必要な無停止で高信頼な運用

導入成果
- 大容量に加えデータ圧縮の効果で今後数年のデータ増加予測に対応
- 以前のストレージソリューションに比べI/O性能が2.4倍向上
- ストレージOSのバージョンアップ時にもサービス無停止で稼働

導入ソリューション
- InfiniBox® 高性能・高可用性・大容量エンタープライズストレージシステム

eltex

横浜市に本社を置く株式会社エルテックスは、EC（電子商取引）と通販システムを統合したパッケージの開発と導入をビジネスの柱とするシステムソリューション企業だ。主力商品の「eltexDC」は食品業界最大手を含む企業で導入され、企業とエンドユーザーの接点となるEC/通販の円滑な運営を支えている。顧客企業各社のEC/通販に関する製品・サービスデータや、エンドユーザーとのトランザクションデータを預かっているのがInfinidatの高性能・大容量ストレージInfiniBox®だ。その導入と活用について、顧客向けITインフラストラクチャを総合的に管理・運用するマネージドサービス部部長の髙埜 聡人 氏、マネージャーの高野 英博 氏と小林 和史 氏に話を聞いた。

課題：サービス拡大に伴って高まるデータ容量と I/O 性能へのニーズ

エルテックスは1997年という、インターネットが一般に浸透し始め、企業がビジネス、とくに顧客とのインタラクション強化の可能性を探っていた時期にすでにECシステムの開発に取り掛かっていた、この分野の先駆的な存在だ。現在、同社のシステムはインターネットを介した受注・発送の処理にとどまらず、2009年からコンタクトセンター業務や通販に関するバックオフィス業務を広くカバーするECの統合パッケージとして提供されている。

Solution Advantages for ELTEX

- I/O性能は2.4倍向上、性能は安定し障害もゼロ
- 従来の8倍の容量でビジネスの成長に対応
- 完全3重化の冗長構造による100%可用性&無停止運用を実現
- 同じ価格帯で実効容量2倍という優れた容量単価

根幹部分であるトランザクションの高精度化と、効率の最適化はもちろん、通販データの分析や、そこから得られる知見に基づいた自動化など、カスタマーエクスペリエンスを高めるための顧客企業のニーズを反映した各種ツールの開発も積極的に行っている。

顧客数の増加や既存顧客の事業拡大に伴って通販そのものに関するデータが増える一方で、この分析に用いるための取引データ、さらにそれらのバックアップ作成に伴う容量要求の増加と、昨今では古いデータでも捨てずに保存しておく傾向が強まったこととも相まって、1社当たりのデータ量は数倍に増大していった。

ソリューション：性能・可用性・容量・コストの全要件に優れた InfiniBox

それまで使用していたストレージでは容量不足が懸念されてきたことから、2021年初頭にアップグレードの検討を開始した。当初は同じストレージベンダーでのアップグレードを予定していたが、希望する要件にうまく合致するモデルがなく、複数の選択肢で比較検討することとなった。その候補のひとつがInfiniBoxだった。「人づてに存在を知って、性能検証する機会があったのですが、優れた数値が出ましたので選定候補のひとつに入れることになりました。」（髙埜氏）

エルテックスが重視したのは十分な容量に加え、性能、可用性の向上とコストの削減だ。InfiniBoxはDRAMキャッシュ、SSDキャッシュおよびハードディスク（HDD）で構成されるが、中でもDRAMキャッシュの容量が大きく、アプリケーションが行う処理の高速化が見込める。加えて、「完全3重化の冗長構造で無停止運用が期待できる高可用性と、同じ価格帯で実効容量2倍という優れた容量単価も大きな魅力でした。」（髙埜氏） このようにすべての条件で優れた結果を出したことから、エルテックスはInfiniBoxを採用した。

導入は非常にスムーズに進み、2022年にInfiniBoxでの運用が開始された。「設定の多くの部分はInfinidatが行ってくれましたし、そもそもユーザが設計する部分が多くなかったので、つないですぐに使えました。導入がシンプルでわかりやすかったのと同様に、導入後の運用、管理もシンプルに行えています。」（高野氏）

成果：ストップゼロ、高性能の安心感で営業活動への好影響も

本稼働から約２年になるが、障害はいちども起きていないという。「性能は安定しており、安心して運用できています。」（小林氏） 稼働後にストレージOSのバージョンアップを行った時もアプリケーションが止まることはなかったそうだ。

「InfiniBoxは大容量のDRAMを1次キャッシュとして搭載していますので、とくにI/Oのスループットが向上しました。I/O性能は実測で2.4倍向上しています。これで恩恵を受けるのがリアルタイム性が求められる分析ツールです。以前に比べてI/O待ちがほとんどなくなっており、分析ツールの処理は1.5倍高速化しました。また、例えばバッチ処理がなかなか完了しないといったI/O起因のトラブルの発生もなくなりました。」（髙埜氏）

エルテックスが導入したInfiniBoxの容量は、従来のストレージの約8倍となる512TB。これは同社が5年後想定としている利用量を上回る容量で、さらにこれに圧縮をかけることで約２倍、1PB（ペタバイト）に近い容量が使えるようになっている。この大容量が想定していなかった効果をもたらしたという。

「容量に空きがなくなってくると顧客営業もどうしても消極的になりがちだったのですが、これだけ容量に余裕があると自信をもって積極的な営業を仕掛けていくことができ、ビジネスの成長に大きく寄与しています。」（髙埜氏）

Lenovo
INFINIDAT

保守についても、契約期間中、専任のテクニカルアドバイザーが割り当てられる。「日々利用していく中で発生する技術的な相談や運用に関する質問について迅速に回答をもらえており、手厚いサポートを受けていると思います。」（小林氏）

仮想基盤について入れ替えを行う際のストレージの設定が手順化されていることにも助けられているという。「ストレージをつなぐ手順は複雑なのですが、InfiniBoxにはHost Power Toolsという管理ツールがあって手順化されているため、楽に行えました。管理画面もシンプルな構成でとてもわかりやすくなっています。」（高野氏）

将来：大容量を活かした活用とバックアップ環境の整備

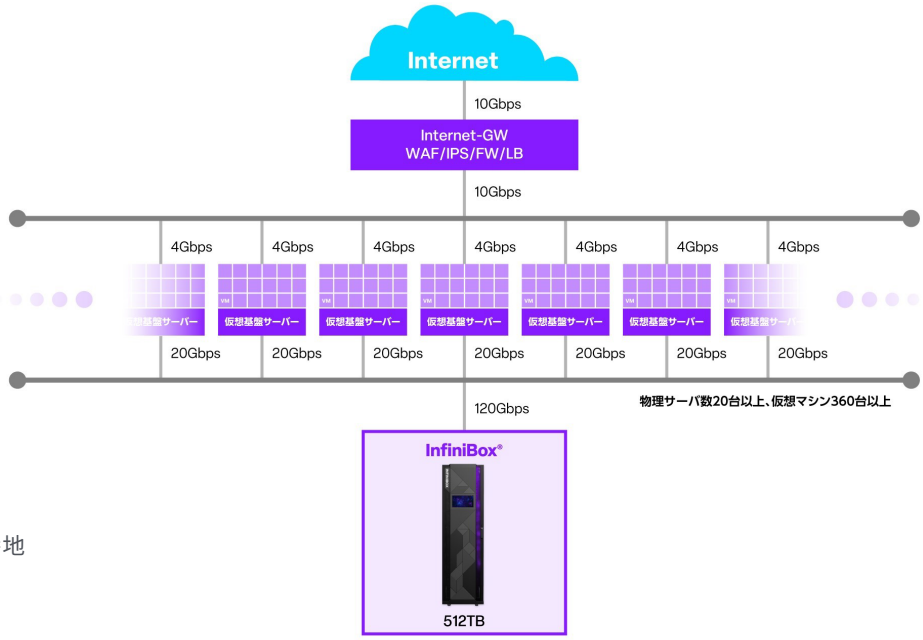
現在、顧客データのバックアップについては、リクエストに応じてクラウドか、オンプレミスではInfiniBox内または外部バックアップ用ストレージのいずれかを選択できる。

「高い性能や安心感を考えると、もう1台InfiniBoxを増やしてプライマリーとセカンダリーの両方をInfiniBoxでそろえるのが理想的かなと考えています。」（髙埜氏）

InfiniBoxは現在、EC/通販ソリューションだけでなく、通販以外のソリューション、たとえばスマートフォン向けショートメッセージサービス（SMS）にも活用されている。InfiniBoxの信頼性と設定・管理の容易さから、このような周辺ソリューションのデータホスティングやアプリケーション用にも積極的に活用していきたい考えだ。

回答者
株式会社エルテックス
マネージドサービス部
部長　髙埜 聡人 氏
マネージャー　高野 英博 氏
小林 和史 氏

エルテックスのストレージ構成（主系）概略図



会社概要
株式会社エルテックス
所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパーク イーストタワー 14階
URL：https://www.eltex.co.jp/

1985年設立のシステムソリューション企業。1997年ごろから電子商取引（EC）システムの開発と導入を始め、2009年には通信販売のバックオフィス業務も含むEC/通販統合パッケージを提供開始しこの事業領域でのビジネスを強化。2014年に現在の主力商品「eltexDC」をリリースし、同パッケージの導入社数は約50社となる。本社は神奈川県横浜市、社員数は146人、売上高は約35億円（数字はいずれも2024年10月1日時点）。

info@infinidat.com
CS-ELTEX-240923-JP | © 2026 Infinidat, a Lenovo company

Lenovo INFINIDAT